

政策 31 地域コミュニティづくりの推進

施策 01 地域コミュニティ組織の維持・強化

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	市民自らが地域づくりに参画し、地域の課題の抽出や解決のために行動するための地域内での話し合いや、主体的活動を円滑に行えます。

施策の成果状況と評価

指標	地域でコミュニティ組織が機能していると思う市民の割合 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		%	63.9	-	65.0	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 地域でコミュニティ組織が地域づくりや地域の支えあいの組織として機能していると思う市民の割合は65.0%です。前回の調査と比べて1.1ポイント向上しています。年齢別では、20代が44.9%で平均より約20.0%低くなっています。</p> <p>(原因) 20代の数値が低いのは、20代の町内会・行政区の行事や活動への参加率が10.3%と低いためと思われます。全体としての数値が向上しているのは、ふるさとづくり支援事業等を活用し、地域の課題解決に取り組む町内会・行政区が増加しているためと考えられます。</p>					目標 達成度	

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 自治会活動の支援促進

基本事項 02 相談支援体制の整備

基本事項01 自治会活動の支援促進

指標	自治会への加入率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】	%	75.7	75.2	74.5	→
評価	(状況) 自治会への加入率は74.5%となっています。前年度と比べると0.7ポイント減少し、減少傾向が続いています。 (原因) アパート入居者等の加入率の低さや、世帯分割が主な要因であると思われます。					目標達成度	■ (中)

基本事項02 相談支援体制の整備

指標	地域コミュニティからの相談件数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】	件	19	21	24	→
評価	(状況) 地域コミュニティからの相談については、課題解決するための事業の取組や補助制度の紹介を行っています。相談件数は24件で、前年度より3件増加しています。相談の内訳は、地域の課題解決に結びつく事業である、ふるさとづくり支援事業(花いっぱい推進事業を除く)12件、コミュニティ助成事業(宝くじ助成)7件、福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)5件です。 (原因) 囑託員会議等において、ふるさとづくり支援事業の取組事例発表や広報・市ホームページ掲載、事業要望の照会などにより、相談窓口の認知度は高まっているものと思われます。					目標達成度	---

基本事項02 相談支援体制の整備

指標	地域コミュニティ活動に参加している市民割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】	%	43.0	-	41.1	→
評価	(状況) 地域コミュニティ活動に参加している市民割合は41.1%で、前回と比べ1.9ポイント低下しています。内容を見ると、「積極的に参加している」11.1%、「なるべく参加している」30.0%となっています。年齢別では、20歳代の参加率が10.3%と低くなっています。 (原因) 町内会への加入率の低下や、少子高齢化に伴う育成会活動の減少等により20代～30代の地域コミュニティ活動への参加が低下しているものと思われます。また、勤務形態の多様化により、参加が難しくなっていることも考えられます。					目標達成度	---

政策 31 地域コミュニティづくりの推進

施策 02 地域コミュニティ活動の支援

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	集会施設の整備が充実し、あらゆる地域コミュニティ活動が支援・促進されます。

施策の成果状況と評価

指標	地域コミュニティの活動拠点に対する満足度	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【生活課】	%	80.8	-	83.7	➔
評価	(状況) 地域コミュニティの活動拠点に対する満足度は83.7%となり、前回と比べ2.9ポイント向上しています。内容を見ると、「満足」3.1%、「やや満足」10.9%、「ふつう」69.7%となっています。年齢別では、65歳以上の満足度が87.5%と高い傾向にあります。 (原因) 市補助事業を活用し、トイレ等を高齢者対応・バリアフリー化するなど、快適な利用環境が整備されていることが要因と思われれます。						目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 集会施設整備の推進

基本事項 02 高齢者生きがい支援の推進

基本事項01 集会施設整備の推進

指標	(代替)集会施設整備率 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
		%	91.3	92.2	92.2	→	<p>(%)</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>	☀ (向上)
評価	(状況)集会所整備率は92.2%で、前年度と比べ変化はありません。 (原因)集会所の新築がなかったため、整備率の変化はありませんでした。							目標 達成度

基本事項02 高齢者生きがい支援の推進

指標	生きがいを持って生活している高齢者の割合 【長寿福祉課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
		%	84.1	-	81.8	→	<p>(%)</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>	☁ (横ばい)
評価	(状況)アンケートで「生きがいを持って生活している」と回答した高齢者の割合は81.8%で、前回の調査と比べ2.3ポイント減少していますが誤差の範囲内と思われます。 (原因)回答のあった高齢者の中から「どのようなことで生きがいを感じるか」を複数回答で選んでもらったところ、最も多かった回答は「趣味・娯楽・生涯学習」の157件で、次いで「運動・スポーツ」と「孫の世話等」の106件です。少なかった回答は、「老人クラブ活動」の27件、「地域活動」の53件となっています。男女別でも同様の傾向です。高齢者の生きがいを感じる活動は、趣味・娯楽活動を中心に多様化しているためと思われます。							目標 達成度

基本事項02 高齢者生きがい支援の推進

指標	地域活動に参加したことがある高齢者の割合 【長寿福祉課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
		%	46.0	-	43.3	→	<p>(%)</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>	☁ (横ばい)
評価	(状況)アンケートで地域活動(町内会、行政区の行事や活動)にどの程度参加しているかとの問いに「積極的に参加」、「なるべく参加」していると回答した高齢者の割合は43.3%で、前回の調査と比べ2.7ポイント減少しています。年代別では、65歳～69歳は41.9%、70歳～74歳は40.9%、75歳以上は49.1%となっています。 (原因)65歳～74歳の比較的若い高齢者は「趣味・娯楽活動」など個人的な活動を好む傾向があり、75歳以上の高齢者にとっては地域活動への参加意欲が高いためと考えられます。							目標 達成度

政策 32 生活安全体制の強化

施策 01 消防・防災体制の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	防火・防災意識の向上が図られています。

施策の成果状況と評価

指標	市の消防・防災対策に安心感を持っている市民の割合 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		%	90.0	-	91.4	→	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 市の消防・防災対策に安心感を持っている市民の割合は91.4%で、前回の調査に比べ1.4ポイント向上しましたが、統計誤差の範囲で横ばいです。内容を見ると、消防・救急体制は「満足」7.6%、「やや満足」19.3%、「ふつう」58.6%です。防災・減災対策は「満足」4.5%、「やや満足」14.1%、「ふつう」65.0%となっています。 (原因) 地域との連携のもと、消防団の加入促進や自主防災組織の設立促進等の啓発を進めているためです。					目標 達成度	---

指標	被災者数 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		人	18	20	25	→	☔️ (低下)
評価	(状況) 被災者数は25人で、前年度に比べ5人増加しています。 (原因) 火災発生件数が5件増加したことによるものです。					目標 達成度	---

指標	火災による損害額 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		千円	84,808	21,719	23,241	→	☀️ (向上)
評価	(状況) 火災による損害額は23,241千円で、前年度に比べ1,522千円増加しています。 (原因) 一般建物火災が5棟増加したことによるものです。					目標 達成度	---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

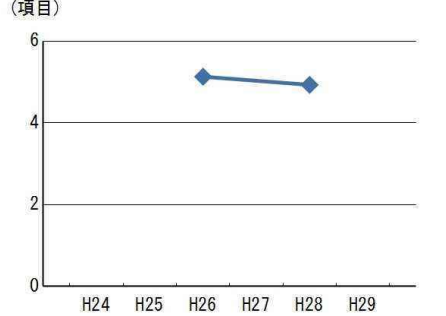
政策 32 生活安全体制の強化

施策 01 消防・防災体制の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	防火・防災意識の向上が図られています。

施策の成果状況と評価

指標	防災対策平均実践項目数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【生活課】	項目	5.13	-	4.93	→
評価	(状況) 防災対策平均実践項目数は、前回調査比0.2ポイントの減少ですが、統計誤差の範囲で横ばいとなりました。内容を見ると、20歳から29歳が4.16項目、30歳から39歳が3.88項目と平均値より下回っている状況です。 (原因) 防災講習会等に、若い世代の参加者が少ないことが考えられます。						(横ばい)
		目標達成度	---				

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 防災情報通信設備の整備

基本事項 02 消防屯所及び消防自動車等の整備・充実

基本事項 03 自主防災組織等の育成・強化

基本事項 04 危機管理マネジメントの推進

基本事項 05 要援護者地域包括ケアシステムの充実

基本事項 06 要援護者避難支援プランの推進

基本事項01 防災情報通信設備の整備

指標	災害情報伝達手段数 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		件	5	5	8	→	
評価	<p>(状況) 市民への災害情報伝達手段数は8件で、同報系防災行政無線(屋外子局、戸別受信機)、緊急速報エリアメール、市ホームページ、市広報車、デジタルサイネージ、SNS(ツイッター、フェイスブック)があります。</p> <p>(原因) 総合防災情報システムの構築により、デジタルサイネージとSNS(ツイッター、フェイスブック)を整備しました。</p>						(向上) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事項01 防災情報通信設備の整備

指標	災害情報伝達手段認知数 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		項目	1.45	-	1.46	→	
評価	<p>(状況) 災害情報伝達手段認知数は1.46項目で、前回調査に比べ0.01ポイント上昇しましたが、統計誤差の範囲で横ばいとなりました。内容をみると、20歳から29歳が1.33項目、65歳以上が1.36項目と平均値より下回っている状況です。</p> <p>(原因) 市の防災訓練や防災講習会に若年層や高齢層の参加者が少ないためです。</p>						(横ばい) 目標達成度 ---

基本事項01 防災情報通信設備の整備

指標	災害情報伝達施設の不具合・トラブル件数 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		件	0	0	0	→	
評価	<p>(状況) 災害情報伝達施設の不具合・トラブル件数はありませんでした。</p> <p>(原因) 災害時、情報の発信・配信が、万全に対応できるよう維持管理に努めています。</p>						(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事項02 消防屯所及び消防自動車等の整備・充実

指標	消防施設・機材の管理上の不具合件数 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		件	86	76	100	→	
評価	<p>(状況) 消防施設・機材の不具合件数は100件で、前年度に比べ24件増加しています。内訳は、消防屯所24件、水利施設16件、消防車両35件、消防ポンプ25件です。</p> <p>(原因) 水出し消防操法競技大会(隔年開催)があり、ポンプ車や小型動力ポンプの修繕が多くあったためです。</p>						(低下) 目標達成度 ■■■ (低)

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 防災情報通信設備の整備

基本事項 02 消防屯所及び消防自動車等の整備・充実

基本事項 03 自主防災組織等の育成・強化

基本事項 04 危機管理マネジメントの推進

基本事項 05 要援護者地域包括ケアシステムの充実

基本事項 06 要援護者避難支援プランの推進

基本事項03 自主防災組織等の育成・強化

指標	自主防災組織結成率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】	%	40.5	47.4	50.9	→
評価	(状況) 自主防災組織が和田区、自由ヶ丘町内会、東山区、東山第二区の4町内会(区)で結成されました。自主防災組織結成率は50.9%で、前年度に比べ3.5ポイント上昇しました。 (原因) 東日本大震災の経験から、自主防災組織の必要性が再認識されていることが考えられます。						☀ (向上)
		目 標 達成度 ■■■ (中)					

基本事項03 自主防災組織等の育成・強化

指標	消防団員充足率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】	%	92.7	90.3	90.3	→
評価	(状況) 消防団員の充足率は90.3%で、前年度と同じです。 (原因) 少子高齢化による若年層の減少や、就業形態の変化等から増加しないものと考えられます。						☂ (低下)
		目 標 達成度 ■■■ (低)					

基本事項04 危機管理マネジメントの推進

指標	水害対策マニュアルの初動体制を知っている職員の割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【行政管理課】	%		67.4	77.0	→
評価	(状況) 水害対策マニュアルの初動体制を知っている職員の割合は77.0%です。前年度と比べ、理解していないと回答した職員の割合は減少しましたが、前年度同様に20代以下の職員の初動体制の理解率が低くなっています。 (原因) 若年層職員の理解度が低いのは、実際の水害対応業務に従事した経験がないことと、マニュアルを確認する機会も少ないことが影響していると思われます。						☀ (向上)
		目 標 達成度 ■■■ (中)					

基本事項05 要援護者地域包括ケアシステムの充実

指標	避難行動要支援者管理システム等データ更新件数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【長寿福祉課】	件	1,438	1,494	1,980	
評価	(状況) 避難行動要支援者管理システム等データの更新件数は1,980件で、前年度と比べ486件増加しました。 (原因) 避難行動要支援者名簿登載の高齢者の自宅を訪問面接し、最新の状況に更新した件数は前年度と比べ538件増加、緊急通報システム利用者情報更新は前年度と比べ20件減少、配食サービスの利用者情報更新は前年度と比べ32件減少となっており、避難行動要支援者名簿の更新件数の増加が大きな要因となっています。他地域で大規模災害もあったことから登録情報更新の重要性が理解されているものと考えられます。						---
		目 標 達成度 ---					

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	防災情報通信設備の整備
基本事項 02	消防屯所及び消防自動車等の整備・充実
基本事項 03	自主防災組織等の育成・強化
基本事項 04	危機管理マネジメントの推進
基本事項 05	要援護者地域包括ケアシステムの充実
基本事項 06	要援護者避難支援プランの推進

基本事項06 要援護者避難支援プランの推進

指標	避難行動要支援者名簿の開示率（町内会（区）長・民生委員への開示率）	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき										
	【生活課】	%	100	100	100	→	(横ばい)										
評価	<p>(状況) 避難行動要支援者名簿の開示率は100%となっています。</p> <p>(原因) 平成25年6月に災害対策基本法等の一部が改正され、新たに、避難行動要支援者名簿の作成や、名簿情報を避難支援等関係者に提供できるなどの規定が設けられたことを受け、市内全ての町内会（区）長や民生委員に対し、避難行動要支援者名簿を配付しています。</p>	<p>(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H25	100	H26	100	H27	100	H28	100	目標達成度
		年度	実績値 (%)														
H25	100																
H26	100																
H27	100																
H28	100																
							(達成)										

基本事項06 要援護者避難支援プランの推進

指標	移動に介助が必要なため避難所に移動できない市民を支援することができる人数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき								
	【長寿福祉課】	人	1,221	1,372	1,395	→	(向上)								
評価	<p>(状況) 移動に介助が必要なため避難所に移動できない市民を支援することができる人数（高齢者の避難支援者）は1,395人で、前年度と比べ23人増加しました。また地区別の避難支援者の登録状況は、浜田地区、小塩江地区、岩瀬地区では避難行動要支援者名簿登録者数に対し避難支援者数が上回っている状況ですが、その他の地区では避難行動要支援者名簿登録者数に対し避難支援者数が下回っている状況です。</p> <p>(原因) 避難行動要支援者名簿登録にあたり新規登録時や登録者の自宅訪問調査時に避難支援者の登録を依頼しており、効果が得られていると考えられます。</p>	<p>(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>1,221</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,372</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,395</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (人)	H26	1,221	H27	1,372	H28	1,395	目標達成度
		年度	実績値 (人)												
H26	1,221														
H27	1,372														
H28	1,395														

政策 32 生活安全体制の強化

施策 02 防災都市基盤の整備促進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、 防災拠点施設	災害が起きにくい環境が整備されています。

施策の成果状況と評価

指標	急傾斜地崩落危険箇所及び内水浸水対策（排水ポンプ配備）地区における被害件数 【道路河川課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		件	0	0	0	→	☀ (向上)
評価	（状況）急傾斜地と内水浸水対策地区の被害はありませんでした。 （原因）大雨が予想される際は、内水排水ポンプを早期に配備し、水位上昇に合わせていち早く稼働できる体制を整えました。台風発生（7号、10号、13号、16号）に伴いポンプ設置を行いました。比較的雨量が少なかったためです。					目標 達成度 ■■■ (高)	

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	急傾斜地の崩落防止施設の整備促進
基本事項 02	河川改修の促進
基本事項 03	内水排水対策の促進
基本事項 04	森林、農用地施設の整備促進
基本事項 05	防災拠点の整備

基本事項01 急傾斜地の崩落防止施設の整備促進

指標	急傾斜地崩壊防止が整備された地区の割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	11.5	11.5	11.5	→	(横ばい)
評価	(状況) 急傾斜地崩壊防止工事が完了した地区の割合は、急傾斜地区のうち11.5%です。前年度と比べ実績値は横ばいです。 (原因) 事業実施主体が県であり、現在、長沼日向地区の対策工事を行っています。平成28年度は11戸中1戸の対策が完了しましたが事業地区の全箇所完了をもって整備済としているため指標に変化がありません。						目標達成度

基本事項02 河川改修の促進

指標	準用河川整備率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	36.5	42.3	45.4	→	(向上)
評価	(状況) 準用河川整備率は45.4%で、平成24年度基準値の31.0%より14.4ポイント、前年度より3.1ポイント向上しています。 (原因) 河川改修事業は、浸水被害の被害軽減を図るために進めています。平成28年度は、準用河川 深田川の排水施設工事 L=62.0m、準用河川 塩田川の護岸・水路工事 L=22.0m を整備しました。						目標達成度

基本事項02 河川改修の促進

指標	準用河川の氾濫回数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【道路河川課】	回	0	0	0	→	(向上)
評価	(状況) 準用河川の氾濫はありませんでした。 (原因) 準用河川 笹平川においては、西川水利組合の協力のもと、台風進路予測に合わせ、事前に上流域のため池(笹平池・十貫田池・会の田池)の水位を下げ、下流域の家屋・事業所等の内水被害軽減に努めています。						目標達成度

基本事項03 内水排水対策の促進

指標	ポンプ場整備率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	62.5	62.5	62.5	→	(横ばい)
評価	(状況) ポンプ場は5箇所が整備済であり、実績値は62.5%で前年度と比べ横ばいです。新たに可搬式ポンプを堀底町に1基増設しています。 (原因) ポンプ場の整備済箇所は、牛袋町・館取町・古屋敷・下江持・仲の町の5箇所です。残り3箇所は、国管理の阿武隈川に設置するため、国の河川整備後の設置となるためです。						目標達成度

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	急傾斜地の崩落防止施設の整備促進
基本事項 02	河川改修の促進
基本事項 03	内水排水対策の促進
基本事項 04	森林、農用地施設の整備促進
基本事項 05	防災拠点の整備

基本事項03 内水排水対策の促進

指標	床上浸水家屋数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【道路河川課】	件	0	0	0	→	(向上)
評価	(状況) 内水浸水対策地区における浸水被害はありませんでした。 (原因) 平成28年度においては、局地的な豪雨等の発生がなかったためです。						目標達成度

基本事項04 森林、農用地施設の整備促進

指標	補助及び負担金額	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【農政課】	千円	15,626	15,477	15,387		(横ばい)
評価	(状況) 各土地改良区が行う土地改良施設(かんがい用水路、ダム、ため池等)の維持管理にかかる補助金及び負担金であり、平成28年度補助及び負担金額は15,387千円で、前年度と比べほぼ横ばいです。 (原因) 維持管理を要する土地改良施設に大きな変化はなく、毎年、同額程度の補助金及び負担金となっています。						目標達成度

基本事項05 防災拠点の整備

指標	防災拠点施設の耐震化率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	%	60	70	80	→	(向上)
評価	(状況) 防災拠点施設の耐震化率は80%で、前年度より10ポイント向上しました。 (原因) 市庁舎が竣工したためです。						目標達成度

基本事項05 防災拠点の整備

指標	防災拠点施設内の倉庫整備率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	%	20	20	30	→	(向上)
評価	(状況) 防災拠点施設内の倉庫整備率は30%で、前年度より10ポイント向上しました。 (原因) 市庁舎内に防災倉庫を整備したためです。						目標達成度

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	急傾斜地の崩落防止施設の整備促進
基本事項 02	河川改修の促進
基本事項 03	内水排水対策の促進
基本事項 04	森林、農用地施設の整備促進
基本事項 05	防災拠点の整備

基本事項05 防災拠点の整備

指標	防災拠点施設内の緊急貯水槽整備率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の つごき											
		【生活課】	%	10	10	20	→	☀ (向上)										
評価	(状況) 防災拠点施設内の緊急貯水槽整備率は20%で、前年度より10ポイント向上しました。 (原因) 市庁舎敷地内に、緊急貯水槽を整備したためです。		<table border="1"> <caption>緊急貯水槽整備率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (%)	H25	10	H26	10	H27	10	H28	20	目標 達成度	---
年度	実績値 (%)																	
H25	10																	
H26	10																	
H27	10																	
H28	20																	

政策 32 生活安全体制の強化

施策 03 交通安全対策の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民 交通安全施設	交通安全に対する意識高揚が図られるとともに、事故防止のための安全対策の充実が図られています。

施策の成果状況と評価

指標	市内の人身事故発生件数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき	
		【生活課】 1月から12月の暦年データに基づくものです	件	309	279	221	→	☀ (向上)
評価	(状況) 市内の人身事故発生件数は、毎年減少してきており、平成28年は221件となりました。また、傷者数は、前年は339人でしたが、平成28年は266人と73人減少しました。時間帯別では16時から20時までの事故件数が43件減少しました。 (原因) PM4ライトオン運動や、自動車運転時の「ライトは上向き(ハイビーム)を基本とする」などの交通安全意識の向上が図られていることも要因の一つと考えられます。						目標達成度	---

指標	市内の交通事故死者数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき	
		【生活課】 1月から12月の暦年のデータに基づくものです。	人	2	2	4	→	☂ (低下)
評価	(状況) 市内の交通事故死者数は、前年の2件に対し、平成28年は4件となり、このうち、市内に居住する者の死者数は2件でした。また県内での死者数90人の4.4%となっており、13市中では、伊達市、会津若松市と同数となっています。 (原因) 市内においては、交通安全意識の向上が図られています。が、市外からの来訪者による前方不注意等の事故に起因する死亡事故となっています。						目標達成度	---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 交通安全教室の充実

基本事項 02 交通安全施設の整備

基本事項01 交通安全教室の充実

指標	交通安全ルールを順守している市民の割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【生活課】	%	82.5	-	84.2	→
評価	(状況) 交通安全ルールを順守している市民の割合は84.2%となり、性別や年齢などの差はほとんどありませんでした。経年比較では、成果は上昇しています。 (原因) 人身事故発生件数も前年から58件減少していることから、交通安全ルールの順守意識が高くなっているものと推測されます。						目標 達成度

基本事項02 交通安全施設の整備

指標	交通安全施設を整備した箇所数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【道路河川課】	箇所	27	34	42	→
評価	(状況) 交通安全施設の整備は、前年度と比べ8箇所増の42箇所の整備を行いました。整備内訳は区画線23箇所、路面カラー化7箇所、ガードレール3箇所、カーブミラー4箇所、標識4箇所、歩道段差解消1箇所を実施しました。 (原因) 施設の老朽化や交通量の増加、高齢運転者の増加等が相まって、年々整備要望が増加していると思われます。						目標 達成度
							■■■ (高)

政策 32 生活安全体制の強化

施策 04 防犯活動・消費生活の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民 防犯設備	防犯活動や防犯設備の充実、消費トラブル防止のための啓発活動を通じ、安全に生活のできる地域社会がつけられます。

施策の成果状況と評価

指標	刑法犯認知件数（須賀川警察署管内）	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】 1月から12月の暦年データに基づくものです。	件	585	534	540	→
評価	(状況) 須賀川警察署管内の刑法犯罪として確認された件数は540件で、前年と比べ6件の増加となりました。 罪種別状況では、窃盗犯は前年の379件から平成28年の353件と26件減少しましたが、知能犯やその他犯罪が増加しました。 (原因) 窃盗犯の減少は、事務所や倉庫荒らし、万引きなどが減少したことが要因となっています。						目標達成度

指標	この1年間に消費トラブルにあったことがある市民割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【生活課】	%	6.7	-	6.1	→
評価	(状況) この1年間に消費トラブルにあったことがある市民割合は6.1%で、男女や年齢別での違いもありませんでした。平成26年度の前回調査の6.7%と比べて、ほぼ同じ実績となります。アンケートの特徴としては、回答のあったトラブル86件のうち架空請求トラブルが34件と全体の39.5%を占めており、前回の調査と比べると0.7ポイントの上昇となっています。 (原因) なりすまし詐欺防止のため、啓発活動等による周知活動の実施により、トラブル割合の上昇が抑えられてきたものと考えられます。						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 防犯灯設置の推進

基本事項 02 防犯体制の強化

基本事項 03 消費生活に関する講座・研修会の充実

基本事項01 防犯灯設置の推進

指標	防犯灯の設置数 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		灯	6,885	6,886	6,966	→	
(状況) 防犯灯の設置数は6,966灯で、前年度と比べ80灯増加しました。 (原因) 平成28年度の申請件数は143件であり、特に住宅着工件数が急増した地域からの申請件数が多かったことが要因として考えられます。	(灯) 8,000 6,000 4,000 2,000 0	H24 H25 H26 H27 H28 H29	目 標 達 成 度 ---				

基本事項01 防犯灯設置の推進

指標	防犯灯の維持管理不具合件数 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		件	1,326	1,531	591	→	
(状況) 防犯灯の維持管理不具合件数は591件で、不具合の内訳としては、球切れなどが全体の約8割です。 (原因) 防犯灯LED化事業により、一斉にLED器具への交換を行い、作業がほぼ完了した10月以降の修繕件数が、殆どなくなったためと考えられます。	(件) 2,000 1,500 1,000 500 0	H24 H25 H26 H27 H28 H29	目 標 達 成 度 ■■■ (高)				

基本事項02 防犯体制の強化

指標	防犯対策を実施している市民割合 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		%	57.9	-	51.2	→	
(状況) 防犯対策を実施している市民割合は51.2%であり、平成26年度のアンケートより6.7ポイント減少しました。 (原因) アンケート結果では、「自転車のツーロックの実施」は上昇しましたが、「家の周りを清潔に保つ」は6.8ポイント減少、「外出時の連絡」は10.8ポイント減少したことなどが要因と考えられます。携帯電話の普及に伴い、いつでも連絡の取れる状況となってきたことで、外出時の事前連絡を省略するようになっていることも要因の一つとして考えられます。	(%) 60 40 20 0	H24 H25 H26 H27 H28 H29	目 標 達 成 度 ■■■ (低)				

基本事項02 防犯体制の強化

指標	緊急連絡システム加入率 【学校教育課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		%	102	103	93	→	
(状況) 平成28年度の緊急連絡システム加入率は93%で、小中学校のほとんどの家庭で加入しており、防犯体制が整っている状況と考えられます。 (原因) 年々増え続ける不審者に関する連絡、異常気象による下校時刻変更の連絡、熊などの危険動物出現に関する連絡など、児童生徒及び保護者のニーズに合った活用ができており、緊急連絡システムへの登録の必要性を感じる割合が多いためと考えられます。前年度は実家庭数に対する加入数で調査したため、100%を超えていましたが、平成28年度は、加入実家庭数として算出したため指標値が下がっています。	(%) 120 100 80 60 40 20 0	H24 H25 H26 H27 H28 H29	目 標 達 成 度 ■■■ (高)				

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 防犯灯設置の推進

基本事項 02 防犯体制の強化

基本事項 03 消費生活に関する講座・研修会の充実

基本事項03 消費生活に関する講座・研修会の充実

指標	(代替)消費者研修会、啓発実施回数 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
		回	10	10	10	10		
評価	(状況) なりすまし詐欺や悪質商法などの消費者トラブルに関する研修会や啓発については、年10回実施しています。 (原因) 消費生活モニターは、毎年、モニター会議(4回)、研修会(1回)を実施しています。また、小・中学生、新成人、高齢者、全市民を対象にリーフレット等を配布し、消費者トラブルの防止に努めています。						 (横ばい)	目標 達成度 ---

基本事項03 消費生活に関する講座・研修会の充実

指標	(代替)消費者相談件数 【生活課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
		件	13	15	10		→	
評価	(状況) 市民相談員及び無料法律相談における消費者相談件数は10件で、前年度と比べ5件減少しました。 (原因) 消費者知識の向上が図られているとともに、県の消費生活センターなどの相談窓口の周知が図られていることが要因と考えられます。						---	目標 達成度 ---